

7. 2009年度日本数学会賞春季賞、 出版賞の授賞について

【春季賞】

日本数学会賞受賞候補者選考委員会からの選考結果報告に基づき、春季賞は東京大学大学院数理科学研究科の小沢登高氏に授賞されました。授賞理由は

‘離散群と作用素環の研究’

に関する業績です。また、3月27日年会会場で授賞式並びに同氏による‘群測度 von Neumann 環の分類—作用素環と非可換調和解析—’と題する受賞記念総合講演が行われました。

【出版賞】

出版賞選考委員会からの受賞候補者選考結果報告に基づき、出版賞はつぎの3組の方に授賞されました。授賞式は3月27日年会会場で行われました。

高瀬正仁氏

授賞理由：オイラー、ガウス、ルジャンドルなどによる古典的著作の優れた翻訳をはじめとした数々の執筆活動を通して、数学文化の普及に大きな貢献をした。

筑摩書房「ちくま学芸文庫 Math & Science」

授賞理由：本学芸文庫は数理科学の動機付け、あるいは根底に横たわる思想に関する良書を数多く出版し、本格的な数理科学の普及に大きな貢献をした。

早川書房「数理を愉しむシリーズ」

授賞理由：早川書房はポピュラーサイエンスのジャンルで、数多くの数学書の中から新旧の良書を選んで出版し、とくに本文庫シリーズは、社会に広く親しみやすい形で数理科学の社会普及に大きな貢献をした。